

第25期第14回常任理事会議事録

日時：平成2年1月20日（土）10:00～12:00

場所：気象庁総務部会議室

出席者：浅井，岡村，竹内，河村，能登，安田，木田，
村上，村松，中村

議事

A. 報告事項

1. 第14回常任理事会の議事録は一部修正の上承認された。

2. 各委員会報告

「庶務報告」主なものは次のとおり

- ・各支部の活動状況
- ・「宇宙科学の国際夏期大学」の案内
- ・研究会・シンポジウム等の案内2件
- ・共催名義使用承認2件

「会計報告」11月分の収支について報告があった。

「天気」

- ・「天気」1月号の内容と2，3月号の予定が紹介された。
- ・「気象学への手引」の連載を5月号から開始する。
- ・「天気」の表紙に写真を入れることを検討している。

「気象集誌」

- ・68巻1号から活字の印刷密度を上げる。
- ・68巻1号の論文7編の紹介があった。
- ・電子掲示板の掲載リストの報告があった。
- ・12月の着信件数は168件

「藤原賞候補者推薦」

- ・各委員に推薦状を送り検討している。近く「学会賞候補者推薦委員会」と合同委員会を行う予定。

「総合計画」

- ・極域研究連絡会提案のシンポジウムは5月22日気象庁（講堂）で行う。

「教育と普及」

- ・第24回夏期大学のテーマは「海と大気」とする。開講のはじめに理事長の講義を入れたい。
- ・気象談話室のあり方について検討する。

B. 審議事項

1. 会員の新規加入

新規加入20名，退会79名が承認された。

2. 平成2年度予算案，事業計画案についてつぎの提案があった。

1) 村上理事からパソコン通信の運営およびページアップについて機能増強とその予算案。

2) 木田理事から国際地球物理気沢会議共催に伴う予算案。

それぞれ，審議の結果，平成2年度予算案に盛り込むことが承認された。

その他の計画についても各担当理事の提案をまとめて継続的に審議していくことになった。

3. 会員の種別と会費の扱いについて，改訂に対する全理事の賛否投票結果が中村理事から発表された。

「改訂に賛成」が大勢を占め，賛成の中に改訂案について意見が3件あった。改訂意見および前常任理事会の検討を参考にして，新しく改訂の主旨，概要および定款・細則改訂案が中村理事から説明された。

審議の結果，大筋において承認されたが，定款の改訂案中，集誌会員およびその資格について更に検討することになった。

4. 第25期第2回評議員会における議題・説明者等が審議された。

編集後記：この原稿執筆日は桜の散る頃の陽気となり冬も終わりに近づいたのが体感できますが，3月号が皆様の手に届く頃には気温は同じぐらいでも，周囲は春の色が感じられることと思われます。

編集委員をやらせていただいて半年以上たちますが，編集委員会に出席してもただ黙って聞いている存在ですが，その場にいるだけで『天気』の編集に対しての各委

員の真剣さが伝わってきます。そのような状況を楽しむ余裕など全くないのですが，その中にいることは自分にもよいことと思われます。

月1度の編集委員会はこのような雰囲気の中で各委員の割当ての進行状況や話題についての議論などにより約2時間が過ぎていきます。(M)